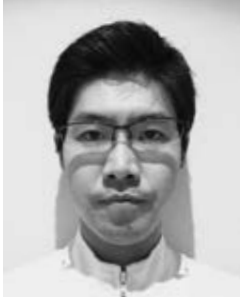


# 素 顔 拝 見



包括歯科補綴学分野  
助教

米 田 博 行

平成29年4月より包括歯科補綴学分野の助教を拝命いたしました米田博行と申します。今回、素颜拝見の寄稿させて頂く機会を得ましたので、簡単ではありますが、思い出話と自己紹介をさせていただきますと思います。

生まれは千葉県の松戸、幼少期まで生活を送り、その後、大学に入学するまで神戸で過ごしました。神戸というと風光明媚な港街を想像されると思いますが、私が住んでいたのは、源平合戦の逆落しでも有名な鶴越（場所に関しては諸説がありますが）のあたりの山あいに住んでおりました。そう書くと、なんとも穏やかな思春期時代を過ごしたように感じられますが、そこは関西。千葉から引っ越してきた私には衝撃的なことが多く、果敢な時期を過ごした関西での経験は、自身の内面形成に大きな影響を与えたと思われま。特に精神面のタフネスはその時に鍛えられたと思っています。

その後、大学への入学をきっかけに仙台に移り住みました。大学では、かねてより興味があった弓道部に入部。今でこそ、弓道部に入ってくる学生が多くはなってきましたが、私が所属した時は人数も少なく、最終的に同期で弓道部に残ったのも私、付属技工士学校の女子の2人。しかも、技工士学校は2年間で卒業のため、サークル活動ができるのはほぼ1年。結果、ほぼ実質1

人といった状況でした。最初は寂しくもありましたが、先輩方にはいろいろ気にかけてもらい、大変お世話になり、後輩との親睦も深めることができました。また、サークルとして親交の深かった新潟大学の弓道部の方々とも充実した楽しい時間を過ごさせていただき、特に大会における、試合や個人戦の前日の懇親会にて、飲んでは吐き、吐いては飲んでの、漬し漬れるまで飲み続ける楽しい時間を過ごさせていただきました。残念ながら、飲み会等にて、本当に、本当にお世話になった方々は、すでに大学を出られてしまっていたようですが、改めて心より厚く御礼を申し上げます。その頃のご恩をこれからの新潟大学との関わりの中で返してまいりたいと思います。

大学卒業後は、東北大学大学院歯学研究科口腔システム補綴学分野に進学し、有床義歯を中心に補綴治療を行ってきました。また大学院修了後は顎関節症やその他の非歯原性疼痛を持つ患者様の補綴治療にも携わらせていただきました。研究に関しては口腔分子制御学分野にお世話になり、マウスを用いた咬筋を主とした筋活動とヒスタミンの関係について研究を携わってきました。終了後は、筋電図を用いた表情筋が咀嚼筋に与える影響に関する研究についても関わってきました。これらの経験を活かし、新潟大学でも新たな研究を行い貢献してまいりたいと思います。

最後になりましたが、小野高裕教授をはじめ、分野スタッフの方々には心より感謝申し上げます。また諸先生にはこれからお世話になることもあると思いますが、歯学部および歯科界のため努力していく所存ですので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



高度口腔機能  
教育研究センター  
特任助教

山田 友里恵

2017年4月より高度口腔機能教育研究センターの特任助教を拝名しました、山田友里恵です。本学出身の42期生です。卒後は同大学院歯科麻酔学分野に進み、研究は口腔解剖でお世話になり博士課程を修了しました。

私は生まれも育ちも新潟市の、生粋の地元民です。子供時代は、特に語れるようなエピソードもなく過ごしてきましたが、思い出されるのはクラシックバレエ漬けの日々でしょうか。始めは可愛い衣装を着て舞台上がるのが嬉しくてお稽古に通っていたのですが、年を追うごとにストーリーや感情を体で表現することの芸術性にすっかり魅了されていました。ところで、バレエの「爪先立ちで踊る」ことは、大なり小なり足の痛みを伴います。私はその痛みで苦労した方で、足趾には常にいくつもマメができていましたし、外反母趾にも悩まされました。マメの跡で大人になった今も足趾はいびつな形をしています。痛みを耐えて頑張った当時は思い返され、私は気に入っています。もう踊ることはないですが、今でもバレエ鑑賞は大好きです。劇場で生の舞台を見るのはもちろん、夜お酒を飲みながらお気に入りの演目のDVDを見て、非日常にエスケープしています。

現在これといった趣味はないのですが、体を動かすことは大好きなので、週末はランニングやロードバイク、ヨガなどを楽しんでいます。他に好きなことといえば、美味しい食事と美味しいお酒をいただくことは外せません。グルメお取り寄せもしょっちゅうですし、美味しいお店の情報を聞けば、遠方でもトライします。おかげでエンゲル係数はかなり高いですが、美酒美食の追求は生涯学習の一環であり、出費は勉強代と勝手な理由をつけて納得しています。しかし、運動もしているし…と脳の欲するままに飲食していましたところ、4月の健康診断で糖尿病マーカーの一つが基

準値を超えました。さすがに20代でこれはマズイと反省し、最近は晩酌を醸造酒から蒸留酒に切り替えました（結局飲む）。

徒然なるままに書いてきましたが、肝心な仕事の話はまだしていませんでした。現在は、大学院に引き続き口腔解剖のベンチを使わせていただきながら、研究中心の毎日を送っています。木曜日は外来手術室の麻酔管理を担当し、少し臨床に携わる機会もいただいています。研究内容については前号にも書きましたので割愛しますが、テーマは末梢神経再生のメカニズムに関する研究です。神経研究において末梢神経はニッチな領域なのですが、まだまだ分かっていないことは多く、非常にやりがいのある分野だと思っています。大学院時代に、研究って面白い！と感じてこの道に進んだわけですが、思い描いた青写真のごとくサクサクと事は進まず、これを仕事として生きていくのはなかなか厳しい世界だなと痛感する毎日です。ただ、全ての原動力は「この事象が生じる原理を知りたい」という知的好奇心だと思っていますので、情熱を失わずに一步ずつ前進していきたいと思えます。

最後になりますが、まだまだ未熟者で至らぬ点が多いかと思いますが、今後も精進してまいりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



口腔生命福祉学講座  
助教

小田島 あゆ子

2016年8月1日より口腔保健学講座の助教を拝命いたしました小田島あゆ子と申します。素顔拝見ということで、どうぞよろしくお願いいたします。

私は大阪で生まれ、5人兄弟の4番目として育ちました。3歳で大阪を離れ、その後は名古屋と東京を行ったり来たりして過ごしました。高校生

活は親元を離れて、当時大学生だった姉と一緒に暮らし、たくさん面倒をみてもらいました。そして、2005年に新潟大学歯学部口腔生命福祉学科の2期生として入学しました。大学生活は実習に部活にバイトと、とにかく忙しくて楽しかったです。ライブに行くことが中学生の頃から継続している私の唯一の趣味で、今でも大学時代の友達と一緒にいたりします。大学時代の友達とは音楽の話はほどほどに、「あの時のPBL班は〜だった」「実習でこんなことをやってしまった」など、だいたい大学時代の思い出話で盛り上がります。

口腔生命福祉学科を卒業後は口腔生命福祉学専攻修士課程に進学しました。大学院進学のきっかけは4年生の特別養護老人ホームでの福祉実習です。入所者の方へ食事介助がうまくできず、摂食嚥下や口腔ケアの知識と技術を学びたい、研究をしてみたいと思ったのがきっかけでした。摂食嚥下リハビリテーション学分野の先生方には恵風園の往診や修士1年目の臨床で、福島正義先生には修士・博士の研究でご指導いただきました。臨床も研究もよくわからなかった私に対して、一から丁寧に教えていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。修士2年目からは社会人大学院生に移行して、昭和大学に入職し、小児歯科に配属されました。小児歯科では保健指導、フォーハンドアシストの診療補助が業務の大半を占めており、歯科衛生士の3大業務（保健指導・予防処置・診療補助）の基礎を学ぶことができました。大学病院では異動することも多く、専門性を極めることが難しいと悩む時期もありました。しかし、小児歯科、障害者歯科、病院歯科（口腔外科）、特別養護老人ホームの訪問歯科診療などの様々な経験は、生涯を通して口腔の健康を支援することの重要性を学ぶ貴重な機会だったと思います。また、大学・病院ともに多職種連携教育に力を入れていたので、色々な職種と連携することの大切さや難しさを経験することができました。これは私の中でとても大きな課題です。

教員として口腔生命福祉学科に戻ってからは、今までの経験を教育・研究・臨床に活かすことができず、もっと深く追求できないかと日々試行錯誤しています。1つ1つの出会いを大切に

ながら大学でお仕事させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 小児歯科学分野 助教

黒澤美絵

はじめまして。2016年9月より小児歯科学分野の助教を拝命いたしました黒澤美絵と申します。この度、素顔拝見のお話をいただきましたので、簡単に私の自己紹介をさせていただきます。

生まれは埼玉県本庄市で中学校までを過ごしました。「本庄早稲田駅」と聞けば、知っている方もいらっしゃるかもしれませんが。群馬県との県境にある片田舎ではありますが、かの有名な早稲田大学の付属高校があることが唯一の(?)セールスポイントで、気が付けば駅名にもなっていました。あともうひとつ、ガリガリ君の生産工場があることも市民の自慢になっています。高校は都内に進学したため、夢の東京生活とおのぼりさん気分で上京したのですが、池袋のど真ん中にある高校にもかかわらず、「寄り道禁止」という禁欲生活をしいられた3年間でした。そして新潟大学への進学を期に新潟へ移住し、現在に至ります。もう人生の約半分を新潟で過ごしていることに自分でも驚いています。以前は「いつになったらこっちに戻ってくるんだ?」とことあるごとに聞いてきた両親も最近では諦めモードに入ったようです。

中学時代は剣道部に所属し、毎日大汗をかきながら活動していました。剣道の経験などまるでなかった私ですが、友人と「なんかかっこいいよね!」と盛り上がり、勢いで入部したというのが正直なところ。3年間でなんとか初段を取ることができました。結局、人生で剣道をしていたのはこの3年間だけで、実家に帰省すると今でも防具一式が目立つ場所に鎮座しています。高校時代は書道部に所属しました。中学校まで趣味で書道教室には通っていましたが、展覧会に出品するために期限に追われる書道部は運動部並みに厳しかったような気がします。改めて振り返ってみ

すと、どうやら私は「道」のつくことが好きなようです。

大学時代は普通の歯学部生のような学生生活を送っていました（…と自分では思っています）。歯科総合診療部での研修医時代に、「仕事に専門性を持ちたい、もっと学びたい」と思い、大学院進学を考えました。小児歯科にはもともと興味があり、選んだ理由はいろいろとありますが、研修医時代にペアを組んでいた友人が小児歯科に進学することが大きかったように思います。実際に入局してみて感じたことは、小児歯科は無限の可能性を秘めているということです。

大学院時代の研究は微生物感染症学分野にお世話になり、小児が罹患する細菌性咽頭炎の原因菌の病原因子に関する研究で2015年度に学位を取得させていただきました。新生ラボということで少々不安もありましたが、体育会系の部活のような明るい雰囲気、楽しく過ごさせていただき、それによって今の自分があると感じております。

現在は日々、成功と失敗を繰り返し、それによって新しい発見をするということの連続で大変ではありますが、非常に充実した毎日を送っています。

最後になりますが、ここまで稚拙な文章にお付き合いいただき、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

